企業・団体名（株式会社 つばくろ電機）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	各作業場責任者を中心に管理･教育を行い、それを基に経営トップが集約をしながら雇用･教育･福利厚生等社員の声に耳を傾けながら関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	作業へ入る際、全体会議でコンプライアンス研修を通して、相談体制の構築を行う。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を基に改正内容等経営者･各作業場管理者で共有し、休日出勤が伴う場合、振替休日の徹底を図り従業員の体調管理を図る。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者が勤務する現場が増えてきていることから、適切な処遇や労働環境の整備を心掛けている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	各作業場に入る前に安全委員会を行い、現場でのリスク等従業員と情報を共有をしながら安全で衛生的な環境体制を構築する。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	経営者が定期的に従業員と面談を行い、普段の悩みや心のケアに取り組んでいる。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	現在、障害者2名･高齢者の雇用延長を行う等、多様な労働環境を提供し従業員が活躍出来る様、安全に配慮しながら職場環境を提供している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	新入社員から教育訓練を徹底し、国家資格の取得もバックアップする等、各従業員の技術能力の向上に力を入れている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働契約法等改正内容を経営者･各現場で共有し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を構築。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】都道府県協会けんぽ、健保連に「健康づくりチャレンジ宣言」を行い、健康経営優良法人認定（経済産業省）を取得を目指す。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	適切に分別し処理を行っている。（提携先の産業廃棄物処理事業者とリサイクル活動を実施）											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月請求される電気･ガスの内容を把握しながら使用料に気を使っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	本社で毎月の燃料･使用電力を把握。冷暖房の温度設定を従業員に周知する事で温度管理の徹底を行う。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、各工場に適切な使用に取り組む様徹底する。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	各工場で自然環境に配慮しながら作業･設計を行う。松川村主催の植樹活動に積極的に参加。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	各工場で無駄を無くす為、在庫管理の徹底を行い、不要な鉄･電線に関しては提携しているリサイクル業者に委託しリサイクル活動に取り組んでいる。花壇の植木は自社で掘った井戸の水を利用している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水源を含む水利用状況を把握している。生活用水道水の他、自社で掘った井戸水を利用し利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPで環境に配慮した省エネ製品を紹介しており、環境の取組みに関する情報開示を行っている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	配送等で使用する営業車のHV車の導入を行っている。 【予定】今後入替のタイミングでHV･EV車の導入を行い更なる再生可能エネルギーの利用に着手していく。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	自社で掘った井戸水を利用して天然資材の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職･贈収賄禁止等含む内容を就業規則に定めており、従業員へ周知徹底を図っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む社内規制の整備と各現場へ会議を実施し周知している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	今後保護が必要な製品や製造法に関しては、特許の申請を検討している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護方針」に従って個人情報の利用目的等HPで公表し体制を整備している。（マスキングして提出）																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社で取り扱う製品･材料はお客様に報告義務がある為、紛争鉱物を取り扱っていないことを徹底している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	行政を交えた意見交換会で、人権侵害防止や倫理面での適切な対応や市場調査等の情報供給を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	品質方針の達成の為、製品･サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しや対策を徹底し、顧客から満足される品質提供を行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	自社で取り決めている品質方針に従って徹底した品質管理を行う事で良いモノを提供していく。また顧客満足度を上げていく為に、取引先様の声を参考にし、社内共有している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	会社内でグリーン調達を意識する事で、環境負荷の小さい製品開発を促し、環境問題の改善に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	介護施設向けの薬品を分配する設備（薬剤師の補助を行うロボット）の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	取引様との打ち合わせをを綿密に実施し、その対話を基に事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。地元の人材の採用を推進している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	松川村で年に一度植樹祭が開催され積極的に参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元人材の採用を継続的に行う。 地元企業の商品･設備の利用に取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念･品質方針など明文化している。事業活動･方針等社員へ周知徹底を行う。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	定例会議や研修を通してコンプライアンスの重要性を発信している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	多数の技術資格者を配置し、体制を構築している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	設計から工事完成後のメンテナンスに至るまで発注者や利用者との対話を意識し、適切な対応を心掛けている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ハザードマップ･リスクマップ等を活用しリスクを洗い出し、予め適切な対応を打ち合わせしている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮したモノづくりやお客様第一に考えあらゆる対応が出来る様、 CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備して いる。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続力強化計画の認定を取得。 【予定】事業継続計画(BCP)の策定。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、検討を進めている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）